

京都市管理の史跡と名勝

— 古墳時代から平安時代まで —

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(公財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

京都市域には、国や京都府・京都市指定の史跡などが88箇所(2014年10月現在)あり、うち60件は国指定史跡または特別史跡となっています。このうちの30件(史跡

以外の4件を含む)は、公益財団法人京都市文化観光資源保護財団が地元保存団体と協力して維持管理業務を担当してきましたが、平成27年4月から当研究所が京都市

の委託を受け、事業を引き継ぐことになりました。今回は、パトロールを実施しているなかで、「古墳時代から平安時代までの史跡と名勝」12件を紹介します。(加納敬二)



1 史跡 天皇の杜古墳 西京区御陵塚ノ越町 1922年指定
古墳時代前期に築造された市内で、最も保存状態が良い前方後円墳です。1988・89年の調査で葺石・埴輪が検出されました。



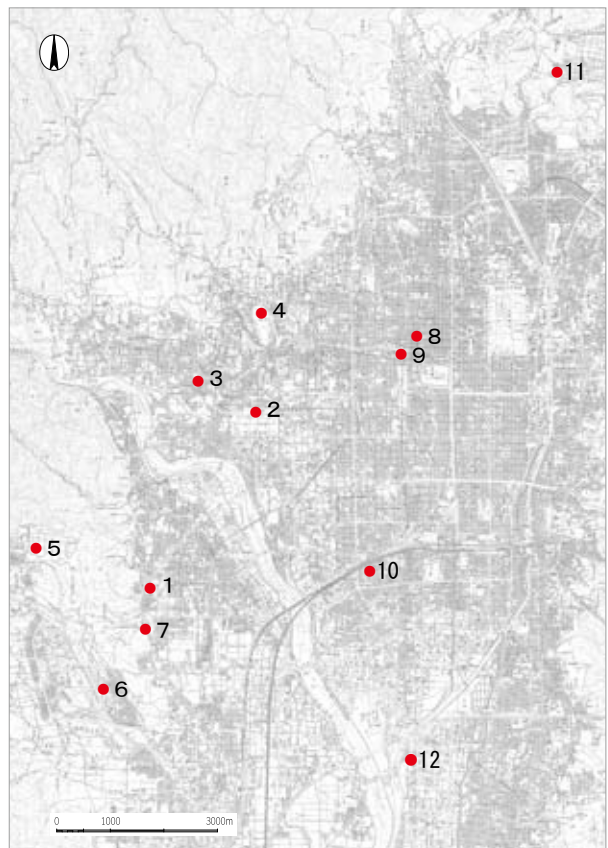
2 史跡 天塚古墳 右京区太秦松本町 1978年指定
古墳時代後期に築造された前方後円墳で、2基の横穴式石室が開口しています。1887年の調査で土器や馬具などが出土しました。



3 史跡 蛇塚古墳 右京区太秦面影町 1977年指定
古墳時代後期に築造された古墳で、巨石で造られた横穴式石室が露出しています。周囲の地割から前方後円墳と推定されています。



4 名勝 雙ヶ岡 右京区御室双岡町 1941年指定
三つの丘からなり、鞍部には20基余りの円墳が知られます。一ノ丘山頂の1号墳は1980年の調査で首長級の大型円墳と判明しました。



今回紹介した史跡と名勝の位置
(地図中の数字は本文の番号に対応します)



5 市指定史跡 大枝山古墳群 西京区御陵大枝山町 2000年指定
古墳時代後期に築造された群集墳で、1980・83・87年に調査され、現在は円墳13基と移築古墳1基が保存されています。



6 市登録史跡 福西古墳7号及び10号墳 西京区大枝北福西町 1983年登録
20数基からなる群集墳で、1970～72年にニュータウン工事に伴い調査されました。10号墳と西隣の7号墳が現地保存されました。



7 史跡 榎原廃寺跡 西京区榎原内垣外町 1971年指定・1998年追加指定
1966年からの調査で、飛鳥時代の八角形瓦積基壇をもつ塔を中心に中門や回廊・築地が検出され、寺院跡と判明しました。



8 史跡 平安宮跡内裏跡 上京区下立売通千本東入田中町 1979年指定
天皇の居所である内裏を囲む築地回廊で、1973年の調査で西端の一部が明らかになり、東端を含めて史跡に指定されています。



9 史跡 平安宮跡豊楽院跡 中京区聚楽廻西町 1990年指定・2008年追加指定
豊楽院の正殿である豊楽殿は、1987年の調査で基壇西北隅と清暑堂に続く廊を、2007年には清暑堂基壇と廊が確認されました。



10 史跡 西寺跡 南区唐橋西寺町 1921年指定・1966年追加指定
1959年からの調査で、金堂・回廊・僧房など主要遺構が確認されました。講堂跡は盛土されて唐橋西寺公園の中に残っています。



11 史跡 栗栖野瓦窯跡 左京区岩倉幡枝町 1934年指定
平安宮・平安京の建物や東寺・西寺の瓦を製造した瓦窯跡で、宮殿に用いられた緑釉瓦や「栗」銘の軒瓦が出土しています。



12 史跡 鳥羽殿跡 伏見区中島御所ノ内町 1978年指定
鳥羽離宮ともよべれます。上皇の後院として南殿・北殿・泉殿・東殿・田中殿に、御所と御堂や広大な庭園が造られました。